

いちばんぼし

第3学年

H30.5.22

NO.5

短歌でたどる沖縄の旅 修学旅行

- ・【民泊】 離れたく ないよ村から でも行こう
「またくるよ」って 言葉残して A
- ・【民泊】 心配が 楽しみになり 悲しみに
変わっていった いちゃりば家族 H
- ・【民泊】 忘れない 家族の言葉が 嬉しくて
約束をした また会いにくる S
- ・【民泊】 民泊の 家族に方言 習ったよ
海に入った 冷たかった T
- ・【民泊】 別れの時 三線と歌 耳にして
「幸せ」を手に みんなでさよなら M
- ・【民泊】 沖縄の 読谷村へ 民泊に
第2の家族 沖縄で会う H
- ・【民泊】 民泊で 初めての 経験をして
楽しくいい 思い出になった H
- ・【民泊】 思い出す またあの家に 帰りたい
お世話になった いちゃりば家族 J
- ・【民泊】 家の中 声がわいわい みな笑顔
別れの時も またみな笑顔 K
- ・【民泊】 父さんが 庭で三線 弾いている
歌に乗せてる あの時の現実 K
- ・【民泊】 三線に 小さな頃を 思い出す
初めて弾けた チューリップの歌 S
- ・【民泊】 タコライス みんなで作った 晩御飯
気持ち膨らむ 思いでひとつ M
- ・【民泊】 2つある 家族のうちの もうひとつ
ここ沖縄の 自分の家族 Y

- ・【民泊】 民泊で 貝で作った シーサーを
見るたび思う 沖縄の地を I
- ・【民泊】 民家さん とても優しく してくれて
これも沖縄の 伝統文化 S
- ・【民泊】 孫たくさん その家の中は 2人きり
広がる海に 貝殻ひとつ S
- ・【民泊】 耳うれし 静かな夜の ソミファソド
虫と三線 よいハーモニー I
- ・【民泊】 おっちゃんは とても優しく おもしろい
散歩に行った 海の思い出 E
- ・【民泊】 だんだんと 不安の気持ち 飛んでいく
言葉にならない 居心地のよさ F
- ・【民泊】 日が沈み 夜の散歩に 座喜味城
静かに光る 蛍のヒカリ S
- ・【民泊】 読谷の ばあちゃんたちの 優しさと
友の友情 大事な思い出 Y
- ・【民泊】 ソーキそば 初めて食べた 美味しかった
海で遊んだ きれいだった I
- ・【民泊】 民泊の あの日のことを 忘れない
友だちといた 大切な日よ M
- ・【民泊】 お父さん 一緒に踊って さようなら
みんなは笑顔 私も笑う N





- 【離村式】 **じっちゃんの写真を見るの嬉しいが
最後の笑顔は何か違った** ②N
- 【離村式】 離村式 おじいの見送り かわいくて
今でも浮かぶ あの笑顔 ②M
- 【離村式】 **別れ時 手を振っている ばあちゃんが
だんだんだんだん ちいさくなった** ③M
- 【離村式】 バスを出て 耳から入る いろいろな音
最期も笑顔で 演奏していた ③I
- 【離村式】 あたたく 見守ってくれる 人がいて
緊張ほどけ スラスラ話す ③M
- 【離村式】 **笑顔だけ 残して尼崎 に帰る
また戻りたい 読谷村に** ④N
- 【離村式】 **沖縄の 楽しい音で 歓迎し
切ない音で お別れをする** ④S
- 【離村式】 沖縄の 方とお別れ 離村式
心に浮かぶ 感謝の涙 ④I

- 【マリンスポーツ】 沖縄の キレイな海の 砂浜で
みんなで遊んだ ビーチフラッグ ①I
- 【マリンスポーツ】 徐々に 遊びはしゃいで ケガをして
なお遊んでた 沖縄の海 ①T
- 【マリンスポーツ】 **白波に 置いてけぼりの 砂の城
夕暮れ時に 泳ぐ太陽** ①I
- 【マリンスポーツ】 思い出を キセキの歌に 乗せながら
みんなで歌い みんなで笑顔 ①O
- 【マリンスポーツ】 広い砂 本気で走った 棒のため
砂が飛び散る 棒の感覚 ①N
- 【マリンスポーツ】 キラキラと 海を照らした 太陽と
輝いている みんなの笑顔 ①N
- 【マリンスポーツ】 初めての ドラゴンボート バリ揺れる
沖縄の海が ゆっくり揺れた ①S
- 【マリンスポーツ】 こいでゆく みんなを乗せて 思い出も
ドラゴンボートで みんなが笑顔 ①K
- 【マリンスポーツ】 **きれいな海 きれいな空を 横切った
みんなで騒ぐ ドラゴンボート** ②N
- 【マリンスポーツ】 太陽が 僕らに味方し 沖縄の
きれいな海を 満喫できた ②M
- 【マリンスポーツ】 **時間きて 戻るみんなと 話しつつ
一人さみしく 残る貝殻** ③U
- 【マリンスポーツ】 美ら海の しょっぱさ舌で 感じとる
これも含めて 美ら海memory ③H
- 【マリンスポーツ】 **大勢で 騒いだ後の 静けさは
なぜかとっても 家族に会いたい** ③S

